

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回上越市女性サポートセンター運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）あいさつ（公開）

（2）議題（公開）

①令和5年度事業報告について

②令和6年度事業計画について

③その他

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和6年5月24日（金）午後1時30分から午後2時10分まで

4 開催場所

上越文化会館 小会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：若林明代（副委員長）、笹川斉、齊京貴子（委員長）、益子泉、熊田直子

・事務局：男女共同参画推進センター 浅野所長、小池係長、竹内会計年度任用職員

8 発言の内容

（1）あいさつ

【齊京委員長】

ご多忙の中お集まりいただき感謝申し上げます。議題を進めていくのでよろしくお願います。

(2) 議題 ①令和5年度事業報告について

【齊京委員長】

(2) 議題 ①令和5年度事業報告についてに入る。

事務局の説明を求める。

【浅野所長】

- ・資料1により説明

【齊京委員長】

- ・只今の説明について委員の意見や質問を求めるがなし

(2) 議題 ②令和6年度事業計画について

【齊京委員長】

(2) 議題 ②令和6年度事業計画に入る。

事務局の説明を求める。

【浅野所長】

- ・資料2、資料3-1、資料3-2、参考資料により説明

【齊京委員長】

- ・只今の説明について委員の意見や質問を求めるがなし

女性サポートセンターで事業をやりつつも、男女共同参画推進センターでもやっているような形で集約されている。今のご時世、女性だけでなく、男女共同で参画するという事で、事業もそういった形になっていると思う。

- ・ほかに委員の意見や質問を求めるがなし

(2) 議題 ③その他

【齊京委員長】

(2) 議題 ③その他に入る。

事務局の説明を求める。

【浅野所長】

令和6年度の女性サポートセンターとして実施する講座は2講座のみだが、その他、男女共同参画推進センターで女性人材育成や男性の育児等への参画推進を通じた女性の社会参画を図る講座等がある。委員の皆様からも参加いただけたらと思う。

【齋京委員長】

委員の意見や質問を求める。

【若林副委員長】

12月に予定されている「働く私の活力アップセミナー」は面白そうだが、1回目は女性限定か。

【浅野所長】

そのとおり。

【若林副委員長】

2回目は1回目に出なかった人でも、男性でも参加できるようだが、男性が参加したいというような広報的な工夫をされるとよいと思う。

【浅野所長】

チラシの内容など工夫し、分かりやすくしたいと思う。

【笹川委員】

夫婦で参加する方もいると思う。

【浅野所長】

そこを狙っている部分もある。

なお、1回目は定員が少ないので、市内在住または在勤の女性を見込んでいる。近隣の市の方が参加されることが結構あり、それはよいのだが、運動系は人気があるので、定員が少ないため市内在住または在勤の女性を対象と考えている。

【齋京委員長】

事業の説明を受けて、改めて思いを強くしたが、女性サポートセンターの運営委員会や当該センターの在り方について、整理する時期に来ていると考えている。以前、産業政策課が所管していたときから、男女共同参画の中の位置づけのひとつとして考えていくべきではないかと思っていた。ただ、条例がある以上は、サポートセンターも運営委員会も簡単にはなくせないし、条例を変えるためにはこの委員会の中の意見も大切になってくるので、そろそろ、話し合いをしながら、整理していった方がいいと思っている。今現在は男女共同参画推進センターに所管替えされて、男女共同参画の方で集約して事

業を進めているため、事業も委員会も整理されてもいいのではないかと。市役所の中も含め、世の中人がいない中に、別々の場所で同じことを話し合いするよりは、男女共同参画審議会というひとつの場をもってきちんと話し合いながら進めてもらった方がいいのではないかと考えている。委員の皆さんの意見を伺いたい。

【笹川委員】

取組としては一体的に男女共同参画推進センターで進めているので、女性サポートセンター事業についても男女共同参画の事業のなかでトータルで見るべきものだと思う。

【若林副委員長】

女性サポートセンターという名前がなくても男女共同推進センターのなかで事業が実施されているので、十分その機能を果たしていると感じる。

【齋京委員長】

女性サポートセンターがスタートした時と時代が変わってきて、必要とされてきたセミナーの内容も変化してきていて、もう男女共同参画に網羅してもいいのではないかと。

【熊田委員】

女性だから男性だからというわけではなく、お互いフォローし合いながら働いていると感じている。女性特有の体調などの面では、フォローしなければならない面はあるが、以前より男女のボーダーがなくなっているため、女性とくくるのは時代から外れてきてしまっているのではないかと。

【益子委員】

時代に合っていない条例は変えていくことはいいと思う。いろんな部分で男性も女性もという事業が増えていくといい。

【浅野所長】

女性が働きやすい職場は男性も働きやすいということで、女性だから男性だからではなく、そういった働きやすい職場環境づくりへの働きかけは必要だと考えている。

そのうえで、性別による固定的な役割分担意識、家事労働が女性に偏りがちだということそれらに対する意識啓発については、女性をターゲットに、あるいは男性をターゲットにするセミナーを男女共同参画でも行っているため、全体として一体的に取り組んでいるという認識でいる。

【齋京委員長】

委員皆さんの意見をまとめると、今の時代に合ったものにしていくべきで、男女共同

参画の中で網羅されて事業を進めていっているのであれば、女性サポートセンターという名前がなくても問題ないのではないかと、時代時代で変わっていくもので、無駄な行政事務は整理して進めていってほしいということだと思ふ。

- ・ほかに委員の意見や質問を求めるがなし
事務局へ進行を返す。

(3) その他

【小池係長】

(3) その他に入る。

【浅野所長】

運営委員会でいただいた意見については、今後、内部できちんと検討していきたい。

- ・女性サポートセンターの経緯について補足して説明

【笹川委員】

委員長からは、運営委員会として実質的に重複した行政事務の無駄は解消すべきだという、明確なご意見をいただいたので、センターではその意見を引き取って、内部で協議していくことになる。

【浅野所長】

女性サポートセンターの機能が男女共同参画推進センターに移管されたことで、元々内在していた課題が顕在化したものと考えている。

【小池係長】

- ・委員より連絡事項等あるか確認し、なし
若林副委員長より閉会の挨拶をお願いします。

【若林副委員長】

さきほどの件について、委員の意見が一致したのでよろしくをお願いします。

【小池係長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 多文化共生課 男女共同参画推進センター

TEL: 0 2 5 - 5 2 7 - 3 6 2 4 (直通)

E-mail: d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

1 0 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。